

全国学力・学習状況調査について

泉佐野市立日根野小学校

1. 調査の目的

- 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

平成27年4月21日（火）

3. 調査の対象

小学校第6学年，全児童

実施児童数（146人）

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

ア 教科は、国語・算数及び理科。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容（A問題）と、それらを活用する力などに関する内容（B問題）とする。

ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。

(2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査（以下「児童アンケート調査」という。）を実施する。

(3) 学校の取組みに関する調査

調査対象の児童が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査（以下「学校アンケート調査」という。）を実施する。

平成27年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答率は、全国平均、大阪府平均を上回っている。平均正答数の全体的な分布状況は、全国と比べ中下位層は多く、中上位層はやや少ない。

平均正答率（本校 71.6／泉佐野市 66.7／大阪府 67.6／全国 70.0）

「B区分問題」

- ・平均正答率は、全国平均、大阪府平均を上回っている。平均正答数の全体的な分布状況は、全国と比べ中下位層は多く、中上位層はやや少ない。

平均正答率（本校 65.3／泉佐野市 59.2／大阪府 62.7／全国 65.4）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語A	特徴がみられた設問
<p>【話すこと・聞くこと】 ○話の内容に対する聞き方を工夫することにやや課題がある。 3 聞き方の説明として適切なものを選択する。 (48.6/53.0)</p> <p>【書くこと】 ○具体的な事例を挙げて説明する文章を書くことは概ねできている。 4 説明の文章の書き方の工夫として適切なものを選択する。 (89.7/86.0)</p> <p>【読むこと】 ○新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉えることに課題がある。 5 ニ コラムの中で筆者が引用している言葉を書き抜く。 (17.8/19.8)</p>	<p>○登場人物の相互関係を捉えることは概ねできている。 6 登場人物の関係についての説明として適切なものを選択する。 (75.3/67.5)</p> <p>【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】 ○文の中における主語を捉えることにやや課題がある。 2 一文の主語として適切なものを選択する。 (51.4/53.1)</p>

国語B	特徴がみられた設問
<p>【書くこと】 ○目的や意図に応じ、新聞の割り付けをすることにやや課題がある。 1 新聞の割り付けとして適当なものを選択する。 (69.9/74.6) ○目的や意図に応じ、記事に見出しを付けることにやや課題がある。 1 見出しの表現の工夫についての説明として適当なものを選択する。 (66.4/70.8) ○目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書くことに課題がある。 1 三 [中田とよさんへのインタビューの様子]の内容をまとめて書く。 (33.6/34.7)</p>	<p>【読むこと】 ○目的に応じ、中心となる語や文を捉えることは概ねできている。 2 イ [イ]に入る言葉として適切な内容を書き抜く。 (86.3/86.0)</p> <p>【書くこと・読むこと】 ○登場人物の気持ちの変化を想像しながら音読することにやや課題がある。 3 二 声に出して読むときの工夫とその理由を書く。 (71.9/66.6)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	60.2	61.1		0.9
国語の勉強は大切だと思いますか	90.4	92		1.6
400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか	67.1	60.1	◇	7
学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか	63.1	55.2	◇	7.9
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	87	88.6		1.6
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	61	65.2		4.2
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	63.7	61.2		2.5
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	72.6	72.7		0.1
国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいますか	85.7	77.2	◇	8.5
今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか（全部書いたと解答した割合）	71.9	77.7	◇	5.8
調査問題の解答時間は十分でしたか（国語A）	89.8	83.3	◇	6.5
調査問題の解答時間は十分でしたか（国語B）	80.9	67.6	○	13.3
国語の授業の内容はよく分かりますか	81.5	82		0.5
読書は好きですか	73.3	72.8		0.5

○「国語の勉強は好きです」と感じている児童の割合がかなり低く、全国と比べても低いことは課題である。

○言語についての知識・理解・技能を問う問題は、概ねよく出来ている。その中でも特に、漢字の問題の正答率は90%以上と高い。しかし、文の構成について問われる問題の正答率はやや低い。

○書く領域において、課題がある。中でも記述式で答える問題については、無回答率も全国と比べて少し高い。学習状況調査からも、書く領域に関する課題がみえる。「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか」「国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか」「学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか」などの書く領域に関する設問のポイントは低くなっている。

平成27年度全国学力・学習状況調査の分析（算数）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・全国平均、大阪府平均を上回っている。平均正答数の全体的な分布状況は、国と比べ中上位層がやや多く、下位層が少なく分布している。

平均正答率（本校 78.3 / 泉佐野市 73.5 / 大阪府 74.8 / 全国 75.2）

「B区分問題」

- ・平均正答率は、全国平均、大阪府平均とほぼ同じである。平均正答数の全体的な分布状況は、国と比べ中位層が多く、上位層、下位層ともに少ない。

平均正答率（本校 46.5 / 泉佐野市 40.8 / 大阪府 44.1 / 全国 45.0）

2. 学力状況調査より（本校正答率 / 全国正答率）

算数A	特徴がみられた設問
<p>【数と計算】</p> <p>○小数の減法について、計算の結果のおよその大きさを捉えることが概ねできている。</p> <p>1（1）$8.9 - 0.78$の差の概算の結果として、ふさわしい数値を選ぶ。（88.4/71.0）</p> <p>○末尾の位のそろっていない小数の減法の計算をすることができている。</p> <p>2（2）$6.79 - 0.8$を計算する。（82.9/69.5）</p> <p>○除数が整数である場合の分数の除法の計算をすることが概ねできている。</p> <p>2（4）$5/6 \div 7$を計算する。（93.2/84.2）</p> <p>【量と測定】</p> <p>○日常生活の中で必要となる時刻を求めることができています。</p> <p>3午後3時10分までに図書館に着くために、所要時間の5分と20分を基に、家を出発する時刻を求める。（81.5/74.8）</p>	<p>○180°よりも大きい角のおよその大きさを、2直角、3直角を基に捉えることに課題がある。</p> <p>4（1）90° 180° 270° 360°を基準として角の大きさを見当付けたものから、正しいものを選ぶ。（75.3/81.3）</p> <p>【図形】</p> <p>○示された見取り図の情報を基に、展開図に必要な面の大きさを読み取ることに課題がある。</p> <p>6（1）作成途中の直方体の展開図について、残りの一つの面の長方形の縦と横の辺の長さを書く。（69.9/75.4）</p>

算数B	特徴がみられた設問
<p>【数と計算】</p> <p>○四捨五入して千の位までのおよその数にして計算することができている。</p> <p>4（1）四つの数を四捨五入して、千の位までのおよその数に表し、それらの数の和を求める式と答えを書く。（61.0/52.6）</p> <p>○切り上げた場合の見積りの結果を基に、目標に達しているかについて判断できている。</p> <p>4（2）切り上げて計算した結果が10000であることから分かることを選ぶ。（67.8/62.0）</p> <p>○概数を用いた見積りの結果とそれに基づく判断を理解し、3000個集めればよい理由を記述することに課題がある。</p> <p>4（3）目標に達するには、12月に3000個のキャップを集めればよいわけを書く。（16.4/22.3）</p> <p>【量と測定】</p> <p>○長方形の面積を2等分する考えを基に、分割された二つの図形の面積が等しくなる理由を記述することに課題がある</p> <p>5（1）示された図において、分割された二つの図形の面積が等しくなるわけを書く。（15.8/12.5）</p>	<p>○条件を変更した場面に面積を2等分する考えを適用して、示された部分の面積を求めることができています。</p> <p>5（2）示された図形の色がついた部分の面積を求める。（60.3/47.8）</p> <p>【図形】</p> <p>○平行四辺形の作図の方法に用いられる図形の約束や性質を理解することに課題がある。</p> <p>1（2）作図に用いられている平行四辺形の特徴を選ぶ。（45.9/54.6）</p> <p>○示された二組の道のりが等しくなる根拠として、図形を見だし、その図形の性質を記述することに課題がある。</p> <p>1（3）二組の道のりが、それぞれ等しくなることを書く。（19.9/27.7）</p> <p>【数量関係】</p> <p>○示された割り引き後の値段の求め方の中から誤りを指摘し、正しい求め方と答えを記述できている。</p> <p>2（3）示された割り引き後の値段の求め方の中から誤りを見だし、正しい求め方と答えを書く。（61.0/51.0）</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
算数の勉強は好きですか	71.9	66.6	◇	5.3
算数の勉強は大切だと思いますか	95.9	93.1		2.8
算数の授業の内容はよくわかりますか	87.7	81.0	◇	6.7
算数の授業で新しい問題に出会ったとき、それを解いてみたいと思いますか	83.6	77.5	◇	6.1
算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	80.9	79.6		1.3
算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	76.7	67.7	◇	9.0
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	92.5	90.3		2.2
算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	84.9	79.1	◇	5.8
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	87.0	80.6	◇	6.4
算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	77.4	83.8	◇	6.4
今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたが、どのように解答しましたか（「最後まで努力した」と回答した割合）	74.7	73.3		1.4
調査問題の解答時間は十分でしたか（算数A）	93.1	84.6	◇	8.5
調査問題の解答時間は十分でしたか（算数B）	79.5	63.7	○	15.8

○質問紙の結果より、算数への興味関心が高い児童の割合が全国よりも高い。

○数と計算の領域の正答率が高く、基礎基本がしっかり定着している。

○図形領域における知識理解の観点に課題があり、面積や角の大きさを求める計算はできるが図形の性質や特徴をきちんと理解できていない。

○記述式の問題の正答率が全体的に低く、頭の中や図で正解が導き出せても、言葉や数で根拠を表現することが苦手である。

平成27年度全国学力・学習状況調査の分析（理科）

1. 全体の傾向

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国と比べ上位層がやや少なく、中位層がやや多く分布している。

平均正答率（本校 59.8／泉佐野市 53.6／大阪府 57.3／全国 60.8）

2. 学力状況調査より（本校正答率／全国正答率）

理科	特徴がみられた設問
<p>【A区分・エネルギー】</p> <p>○ふりがが一往復する時間を変えるにはどうすれば良いか、概ね理解できている。 1(2)振り子が一往復する時間を変える要因を調べるため適切に条件を変えた振り子を選ぶ。 (72.6/61.2)</p> <p>【A区分・物質】</p> <p>○予想が一致した場合に得られる結果を見通して実験を構想できる。 3(2)水の温まり方の予想を基に、温度計が示す温度が高くなる順番を選ぶ。 (62.3/54.0)</p> <p>○水の温まり方を考察するために、実験結果を基に自分の考えを改善できる。 3(3)水の温まり方について、実験結果から考え直した内容を選ぶ。 (63.0/51.7)</p> <p>○メスシリンダーの名称を理解している。 3(4)示された器具（メスシリンダー）の名称を書く。 (50.7/70.7)</p> <p>○メスシリンダーで一定量の水をはかり取る適切な扱い方を身につけている。 3(5)メスシリンダーで一定量の水をはかり取る適切な扱い方を選ぶ。 (42.5/51.7)</p>	<p>【B区分・生命】</p> <p>○顕微鏡の名称は、概ね理解できている。 2(3)示された器具（顕微鏡）の名称を書く。 (67.8/61.6)</p> <p>○顕微鏡の適切な操作方法の理解には、やや課題がある。 2(4)顕微鏡の適切な操作方法を選ぶ。 (32.2/37.9)</p> <p>【B区分・地球】</p> <p>○月は1日のうち時刻によって形は変わらないが、位置が変わることを理解している。 4(2)夕方にみられる月の形と場所を選ぶ。 (50.0/56.1)</p> <p>○打ち水の効果について、グラフを基に地面の様子と気温の変化を関係付けながら考察して分析できる。 4(6)地面に水をまいたときの地面の様子と温度変化について、実験結果から言えることを選ぶ。 (89.7/84.2)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
理科の勉強は好きですか。	80.2	83.5		3.3
理科の勉強は大切だと思いますか。	87.0	86.9		0.1
理科の授業の内容はよく分かりますか。	84.2	87.9		3.7
自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか。	83.6	86.9		3.3
理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか。	69.9	69.3		0.6
理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。	72.0	74.5		2.5
将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか。	32.9	28.8		4.1
理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり、発表したりしていますか。	54.1	54.9		0.8
理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか。(「週1回以上」と回答した割合)	20.5	45.8	○	25.3
観察や実験は好きですか。	90.4	90.1		0.3
理科の授業で自分の予想をもとに、観察や実験の計画を立てていますか。	73.9	75.3		1.4
理科の授業で観察や実験の結果からどのようなことが分かったか考えていますか。	73.3	80.4	◇	7.1
理科の授業で観察や実験の進め方や考え方がまちがっていないかを振り返って考えていますか。	67.8	67.1		0.7
解答を文章で書く問題についてどのように解答しましたか。(「最後まで努力した。」と回答した割合)	67.1	76.1	◇	9.0
調査問題の解答時間は十分でしたか。(理科)	84.2	79.6		4.6

○理科室での観察や実験の頻度が低いことが、メスシリンダーや顕微鏡などの実験器具の扱い方についての正答率の低さにつながっている。

○「観察や実験は好き。」と思っている児童は90%以上いるが、全国と比べると理科室での観察や実験の頻度が低い。

○「観察や実験の結果からどのようなことが分かったか考えている。」児童の割合が、全国と比べて低いことや、4(2)の設問のように、論理的に考えて答える問題に対して正答率が低いことから、結果のみを暗記しているのではないかと考える。

○解答時間は十分あったという回答が全国より高いが、「解答を文章で書く問題についてどのように解答しましたか。」という設問に対して、「最後まで努力した。」と回答した児童の割合が、全国と比べて低いことから、文章にして表現することが苦手であり、あきらめてしまっている傾向がみられる。

平成27年度全国学力・学習状況調査の分析（児童質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものの中で、特徴的な項目を列挙した。さらに、下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校 回答率 / 全国 回答率 >
【家庭生活の様子】	<ul style="list-style-type: none"> ○課題克服への意欲が高い ○社会貢献への関心が高い ○地域の行事への参加率が低い ○規範意識が低い ○テレビゲーム等を長時間している児童が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ○難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦していますか <u><87.0/76.4></u> ○地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか <50.7/44.8> ○今住んでいる地域の行事に参加していますか <58.6/66.9> ○学校のきまりを守っていますか <u><78.8/91.1></u> ○普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか 3時間以上 <24.7/17.0>
【家庭学習の様子】	<ul style="list-style-type: none"> ○学校以外の時間に勉強している児童の割合が多い ○通塾率は全国を上回っている ○復習の習慣は十分身につけているとは言えない 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む） 2時間以上 <35.0/25.7> ○学習塾（家庭教師を含む）で勉強をしていますか 通っていない <u><35.6/52.7></u> ○家で、学校の授業の復習をしていますか <u><43.8/54.5></u>
【学校での学習の様子】	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に自分の意見や考えを発表することができる ○話し合い活動の中で自分の考えを深めることができる ○総合的な学習の時間では課題解決や発表などの学習活動に取り組んでいると考える児童の割合が全国より低い 	<ul style="list-style-type: none"> ○友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか <u><63.7/51.2></u> ○学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか <74.0/66.9> ○「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか <u><49.4/65.8></u>

本校の取組み

◎これまでの取組み

【国語】

- ・低学年から語彙力を獲得させるとともに、短文づくりなどで書くことへの抵抗を少なくする。
- ・文学教材に多く触れさせ、情景や登場人物の心情を考えさせる。
- ・話し合い活動の時間を多く設け、自分の意見を言ったり、友だちの考えを聞いたりする活動を発達段階に応じて取り組む。
- ・本の面白さをしっかり伝え、読書指導を充実させる。また、物語やお話の読み聞かせで、多くの読み物に出会わせる。

【算数】

- ・朝学習の時間に、計算などの反復練習を行い、算数の基礎基本の定着を図る。
- ・自分の考えや工夫した点について発表したり、友だちの意見を聞いたりする活動を増やす。
- ・生活と結びついた活動を取り入れ、大きさや数量の感覚をつかませる経験を積む。
- ・見やすいノート作りを推進し、ノートの取り方を工夫させる。

【生活】

- ・全ての学習活動や行事において、子どもたちの自主性を養う。
- ・自分のことを好きになれるような取り組みを行い、自己肯定感を高める。
- ・道徳の授業をしっかりと取り組むとともに、「相手のことを考えて行動する」ということを大切にする。
- ・地域の方と触れ合い、地域の方に学ぶ取り組みを行う。

◎これからの取組み

【国語】

- ・文字数や場の設定などの条件付きで作文を書いたり、本や新聞記事の紹介をすることで長文を要約したりする活動を取り入れていく。
- ・書くための材料を集め、その中から取捨選択し、順序立てて書くことの練習を系統的に進めていく。
- ・意味調べや例文づくり、言葉のきまりや熟語についてなどの「言語の学習」を大切にしていける。

【算数】

- ・問題解決の機会を多く設け、答えを求めるだけでなく、なぜその答えになるのかを説明する活動を増やしていく。
- ・自分の考えをノートに書いたり、それを友だちに説明したりする活動を積極的に行っていく。
- ・図形の定義や性質について触れる活動を増やしていく。

【理科】

- ・できるだけ多くの児童が実験器具に触れられるような授業展開を進めていく。
- ・実験等において、子どもたちが主体的に活動できるよう弾力的に時間を設定して、余裕をもった学習を計画する。

【生活】

- ・総合的な学習の時間の各学年の取り組みを充実させ、その活動を総合ファイルにまとめるなど、活動をふり返れるようにしていく。
- ・できていないことだけではなく、できていることにも目を向け、肯定的な声かけをすることで、児童のがんばろうという意欲を高めていく。
- ・宿題以外でも毎日1時間程度の復習や予習などの家庭学習を行うよう指導するとともに、保護者に啓発していく。
- ・ゲームやテレビの視聴時間が必要以上に長くならないよう学校で指導するとともに、家庭にも協力を依頼しながら児童の生活習慣の改善を図る。